

特定のテーマへの対応について

*事例1（初回相談で関係形成と課題整理が必要な事例）

キーワード 初回対応、関係形成、本人中心の姿勢

- ・ 対象者:20代後半の男性
- ・ 障害種別:発達障害の診断あり
- ・ 現状:実家で父母と同居。日中は無職で、ほとんど外出しない
- ・ 相談経緯:母親が市役所に相談。本人は福祉サービスに強い拒否感があり、過去に支援者と合わず相談が中断した経験がある

（困りごと）

- ・ 生活リズムが乱れ、昼夜逆転している
- ・ 家族との衝突が増えている
- ・ 本人は働きたい気持ちはあるが、失敗経験から不安が強い
- ・ 家族は早く就労につなげたいと考えている
- ・ 現在の支援:なし
- ・ 緊急性:障害者虐待の事実はなく入院の必要性はないが、家族関係の悪化が進んでいる

【設問】

1. 初回相談でどのように本人との関係を作りますか
2. まず何を確認し、どの順番でアセスメントしますか
3. 家族への対応をどう考えますか
4. どのような支援方針を立てますか
5. 必要に応じて、どの機関と連携しますか

特定のテーマへの対応について

*事例2（緊急性と多機関連携が必要な事例）

キーワード 緊急性の判断、多機関連携、危機対応

- ・ 対象者:40 代前半の女性
- ・ 障害種別:精神障害の診断あり
- ・ 現状:单身アパートで生活しているが、最近は通院が途切れがち
- ・ 相談経緯:近隣住民から、部屋の中が散らかっている、夜中に大きな声が聞こえる、ゴミ出しができていないとの情報が市に寄せられた

（困りごと）

- ・ 服薬や通院の自己管理が難しくなっている
- ・ 食事や金銭管理が不安定
- ・ 生活費が不足し、家賃滞納も始まっている
- ・ 本人は支援を拒否する場面がある一方、調子が悪い時は助けを求める
- ・ 現在の支援:通院先あり、訪問看護は中断中
- ・ 緊急性:高くはないが、孤立と生活破綻のリスクがある

【設問】

1. この相談を受けたとき、まず何を確認しますか
2. 本人の安全と生活継続のために、どのような対応を優先しますか
3. 通院・訪問看護・地域の関係機関とどう連携しますか
4. 金銭、住まい、生活支援をどのように整理しますか
5. 支援を拒否された場合、どのように関わりを継続しますか